

これも「未来の教室」3 ～各学校における様々な工夫～



今の机の広さだと、タブレット使いづらいなあ。何かよい方法はないかな？

<取組1>

タブレットを用いて授業をする際、作業スペースに困っていませんか？→**荒海小【長机で作業スペースの確保】**

先日、「ふくしま『未来の教室』授業充実事業」の実践協力校である南会津町立荒海小学校で研究授業公開がありました。その時、子供たちの机と机の間には長机が置かれていました。この長机にタブレットを置いておき、活用時には机に、ノートにかく場合には長机にタブレットを置いて使用している姿が見られました。児童の作業効率を十分に図ることができるすばらしい工夫でした。



コロナ予防の観点から大人数での研修会ができていない。何かよい方法はないかな？

<取組2>

研修を深めるために協議をしたい、でも「密を避ける」対策はどうすればよいか困っていませんか？
→**田島中【複数教室とスクリーンの活用で同時中継】**

1月22日、南会津町立田島中学校で四校において（田島中・田島小・田島二小・桧沢小）連絡協議会での授業公開があり、医療創生大学 中尾剛教授の講演がありました。情報教育・生徒指導・特別支援・養護部会の4つの部会に分かれ、スクリーンを通して講演を受けました。「密を避ける」、「移動時間の短縮を図る」といった利点があり、大人数での研修が実施できました。



オンラインの効果的な活用により、先生方の研修の機会の確保を進めることができたよい事例かと思えます。

各校の実態に応じて、取り組んでみてはいかがでしょうか。

今後、「未来の教室」の公開等は以下のとおりです。その中から参考になる取組があればぜひ実践してみてください。

今後の予定

令和3年12月15日（水）只見町立只見中学校研究授業公開（講師：義務教育課指導主事 藤井 宏 氏）
すすらドリル取組公開・1年生「総合的な学習の時間」授業公開（授業者：鶴巻拓真教諭・目黒英樹教諭）
令和4年2月21日（月）第2回地区別研究協議会（東北学院大学教授 稲垣 忠 氏）

